



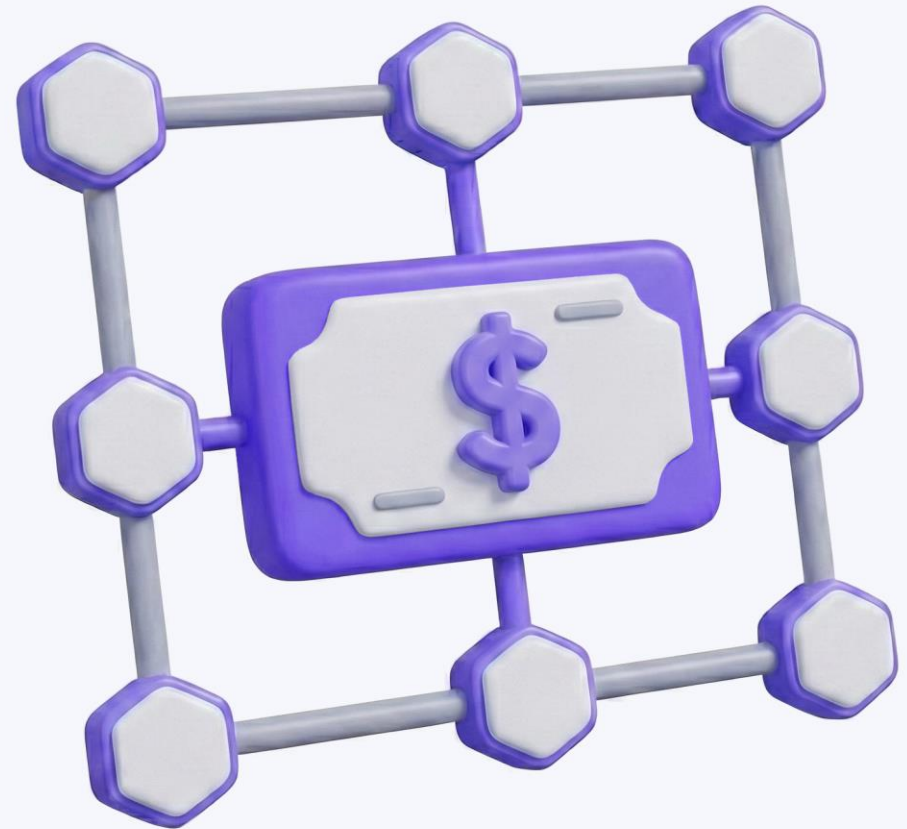
トークン化 資産

Tokenized Assets

数兆米ドル規模の資産価値を
ブロックチェーンへ移行

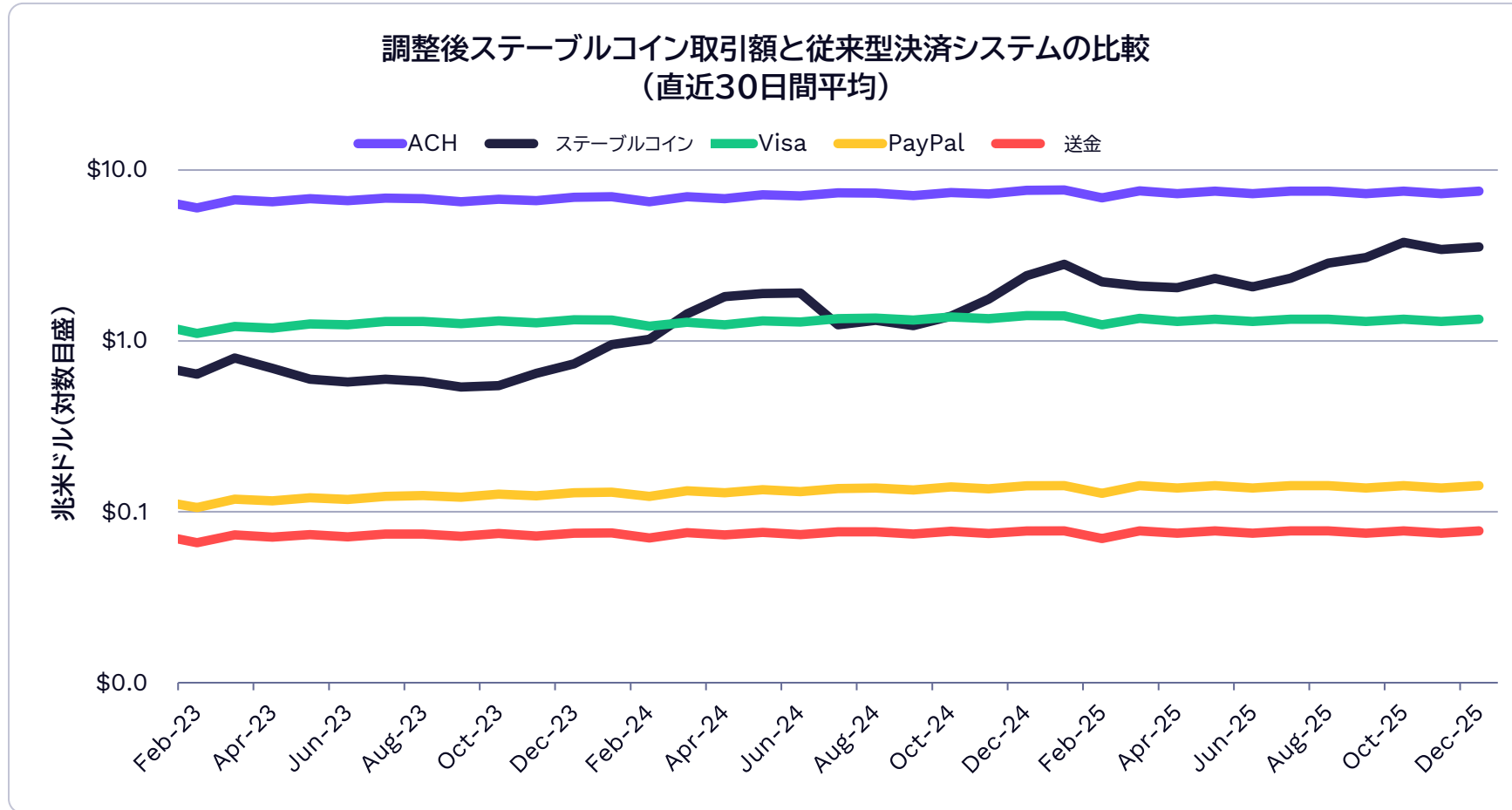
Lorenzo Valente
(ロレンツォ・ヴァレンテ)
デジタル資産分野
リサーチ・ディレクター

Raye Hadi
(レイ・ハディ)
デジタル資産分野
リサーチ・アソシエイト





12月に3.5兆米ドルへ到達、ステーブルコイン取引高は従来型決済システムを圧倒



2025年12月時点における調整後ステーブルコイン取引額の直近30日間平均は3.5兆米ドルとなり、Visa、PayPal、送金の合計額の2.3倍に達しました。

Circleのステーブルコイン「USDC」は、調整後取引額において約60%のシェアを占め首位となり、これにTetherの「USDT」が約35%で続きました。

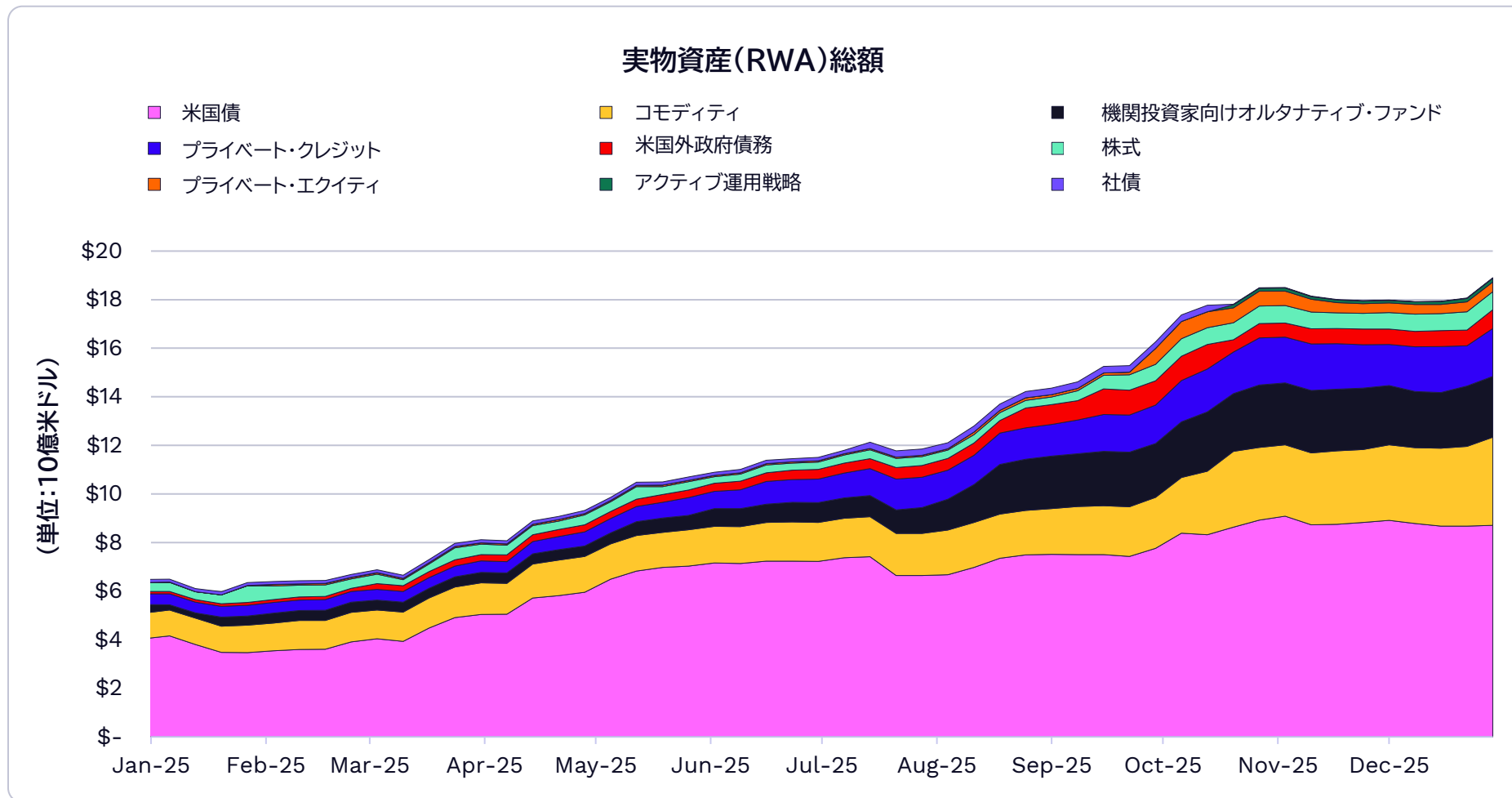
2025年には、ステーブルコインの供給量は約50%増加し、2,100億米ドルから3,070億米ドルへ拡大しました。内訳は、USDTが61%、USDCが25%を占めています。

Sky Protocolは、2025年末時点で時価総額が100億米ドルを超えた唯一のその他ステーブルコイン発行体です。また、PayPalの「PYUSD」の時価総額も6倍超に増加し、34億米ドルに達しました。

注記: 上記チャートでは、マイナー抽出可能価値(MEV)および取引所内取引高を除外した調整後ステーブルコイン取引額を使用しています。これにより、ユーザー間で実際に行なわれたステーブルコイン送金の動向をより純粋に反映しています。数値は月次で取得した直近30日間の取引額を示しています。そのため、暦月ベースの合計値とは乖離する場合があります。出所: ARK Investment Management LLC, 2026年。Artemis Analytics(2025年12月31日時点)のデータに基づいています。本資料は情報提供のみを目的としており、特定の証券または暗号資産の購入、売却、もしくは保有を推奨するものではありません。過去の実績は将来の成果を示唆するものではありません。予測には本質的な制約があり、依拠できるものではありません。



米国債とコモディティ主導で、トークン化資産市場は2025年に190億米ドルへ3倍拡大



トークン化された現実世界の資産(RWA)の市場規模は、2025年に208%増加し、189億米ドルに達しました。

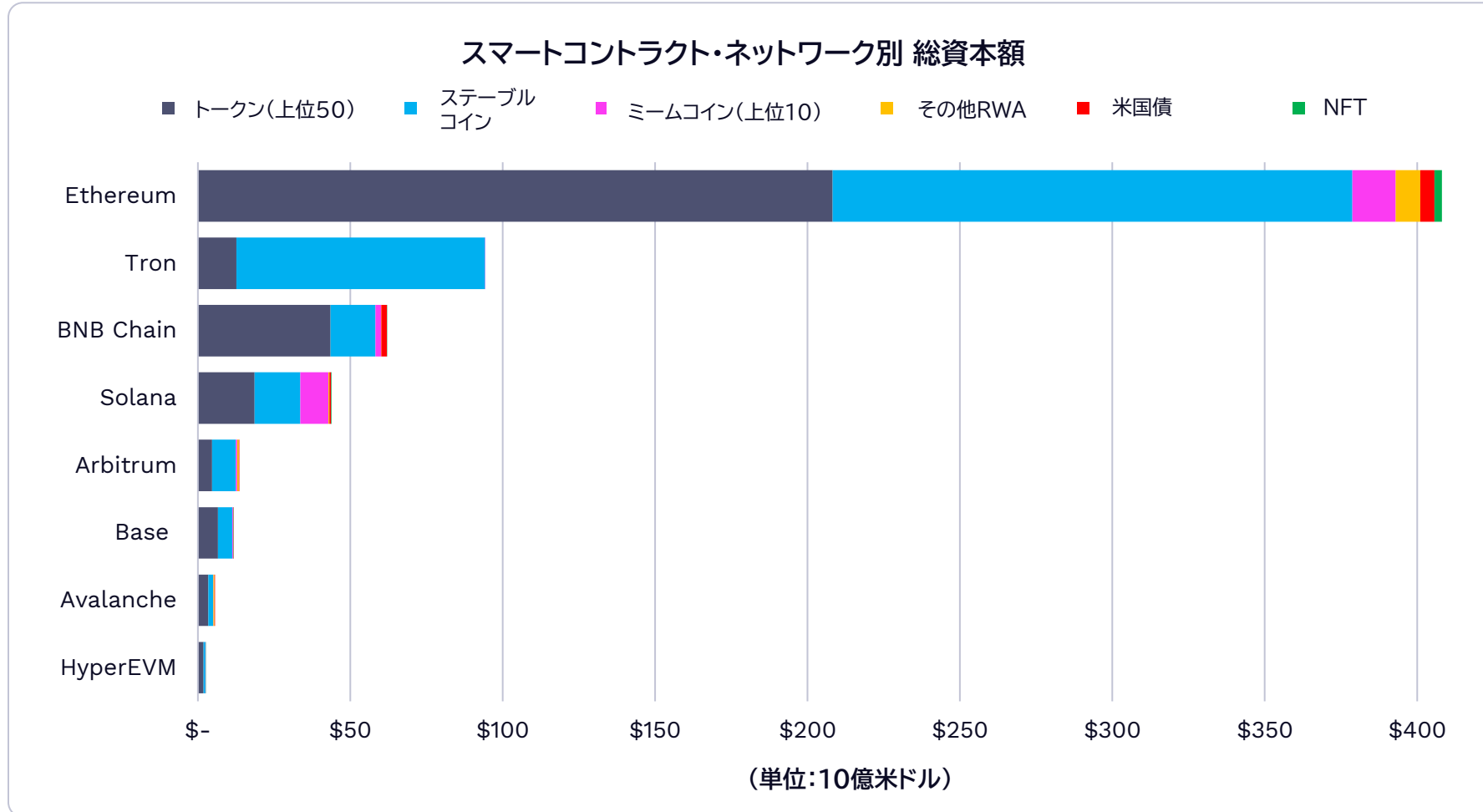
BlackRockのマネー・マーケット・ファンド「BUIDL」(17億米ドル規模)は最大級の商品であり、トークン化された米国債90億米ドルのうち20%を占めました。

トークン化コモディティでは、Tetherの「XAUT」とPaxosの「PAXG」による金(ゴールド)商品が主導し、それぞれ18億米ドルおよび16億米ドルへ拡大、合計で83%のシェアを占めました。

また、上場株式のトークン化市場は7億5,000万米ドルに迫りました。



オンチェーン資産においてイーサリアムが依然優位



Ethereum上の資産総額は現在4,000億米ドルを超えています。

最も利用されている8つの主要ブロックチェーンのうち7つでは、ステーブルコインおよび上位50トークンが市場価値の約90%を占めています。

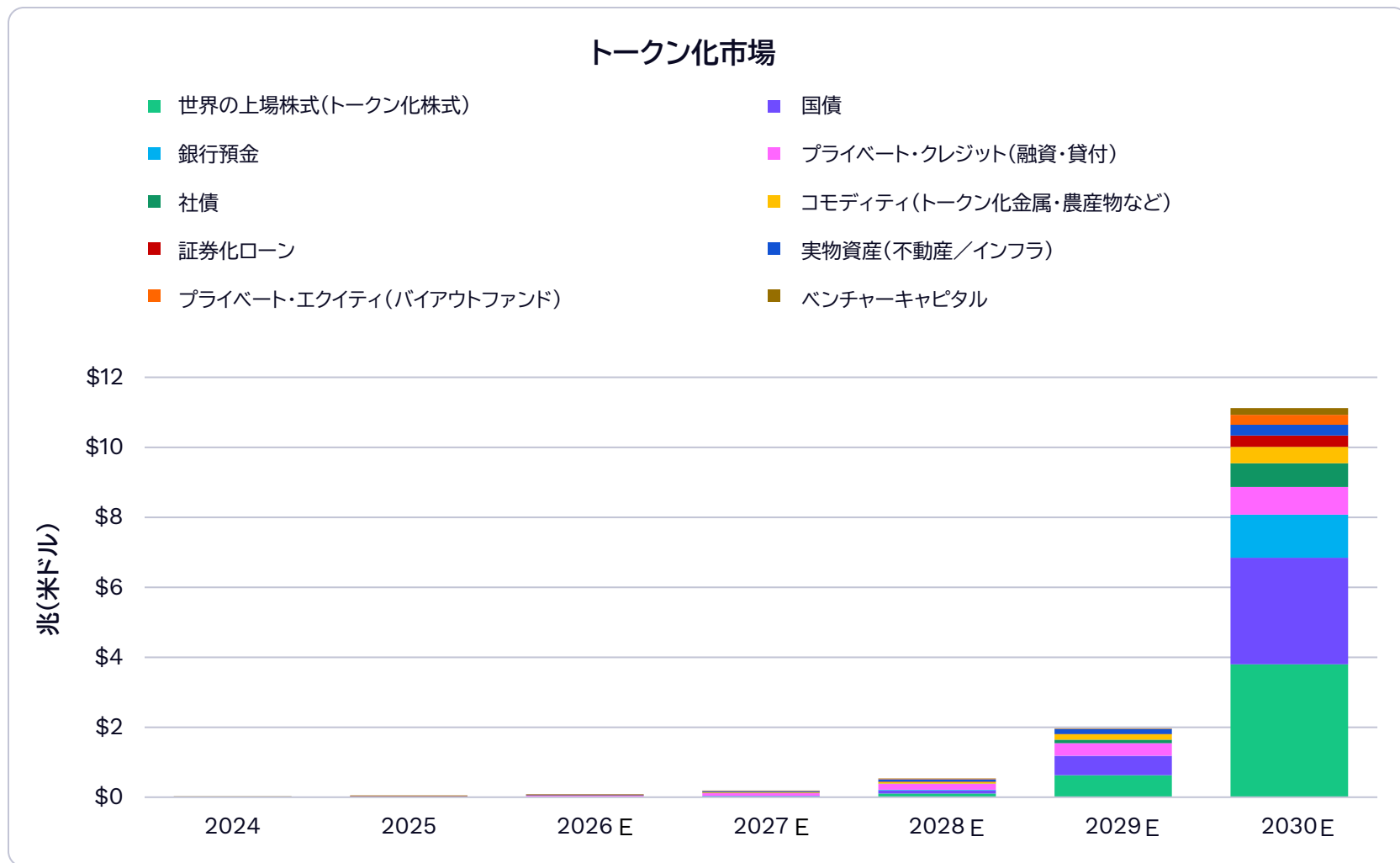
میمコインは、Solana以外のブロックチェーンでは資本の約3%以下にとどまっています。一方、Solanaではمیمコインが資産全体の約21%を占めています。

現実世界の資産(RWA)のトークン化は、最も高い成長率を示すカテゴリーの一つになる可能性があります。世界の価値の大半は依然としてオフチェーン資産に存在しており、オンチェーン化の普及にとって最大の成長機会となっています。

注記:「NFT(Non-Fungible Token)」とは、単一または複数のブロックチェーンネットワーク上で発行され、相互運用可能な形で活用される、固有性を有するデジタルネイティブ資産または物理的資産の表象を指します。主にアート、ゲーム、メディアなどの消費者向け用途に利用されます。「میمコイン」とは、میمや文化的トレンドを背景に生まれた投機的な暗号トークンであり、通常は本質的なユーティリティを持ちません。出所:ARK Investment Management LLC, 2026年。Etherscan(2025年)、BaseScan(2025年)、SolScan(2025年)のデータ(2025年12月31日時点)に基づいています。なお、一部の情報はARKの内部分析に基づくものであり、追加の情報源を参照しています。本資料は情報提供のみを目的としており、特定の証券または暗号資産の購入、売却、もしくは保有を推奨するものではありません。過去の実績は将来の成果を示唆するものではありません。予測には本質的な制約があり、依拠できるものではありません。



トークン化資産の世界市場は2030年に11兆米ドル超へ拡大の可能性



当社の調査によれば、トークン化資産は現在の190億米ドルから2030年には11兆米ドルへ拡大し、すべての金融資産の約1.38%を占める可能性があります。

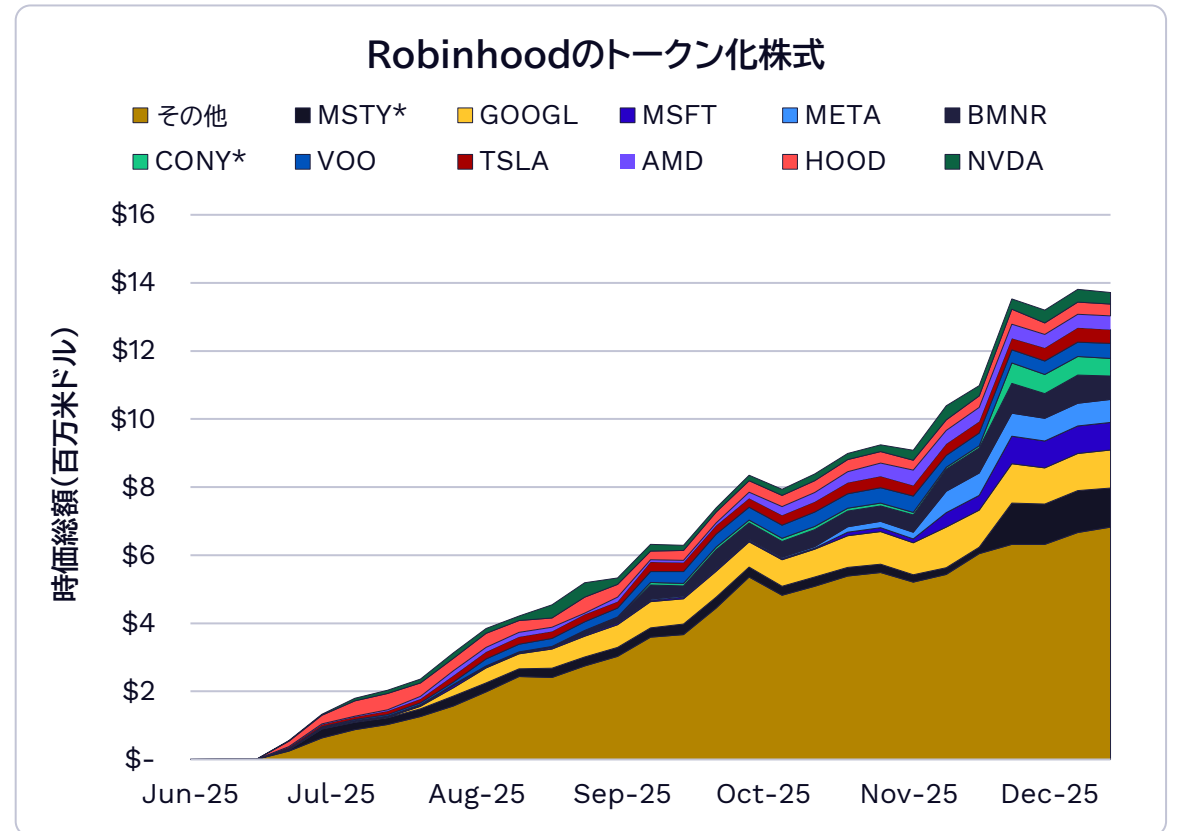
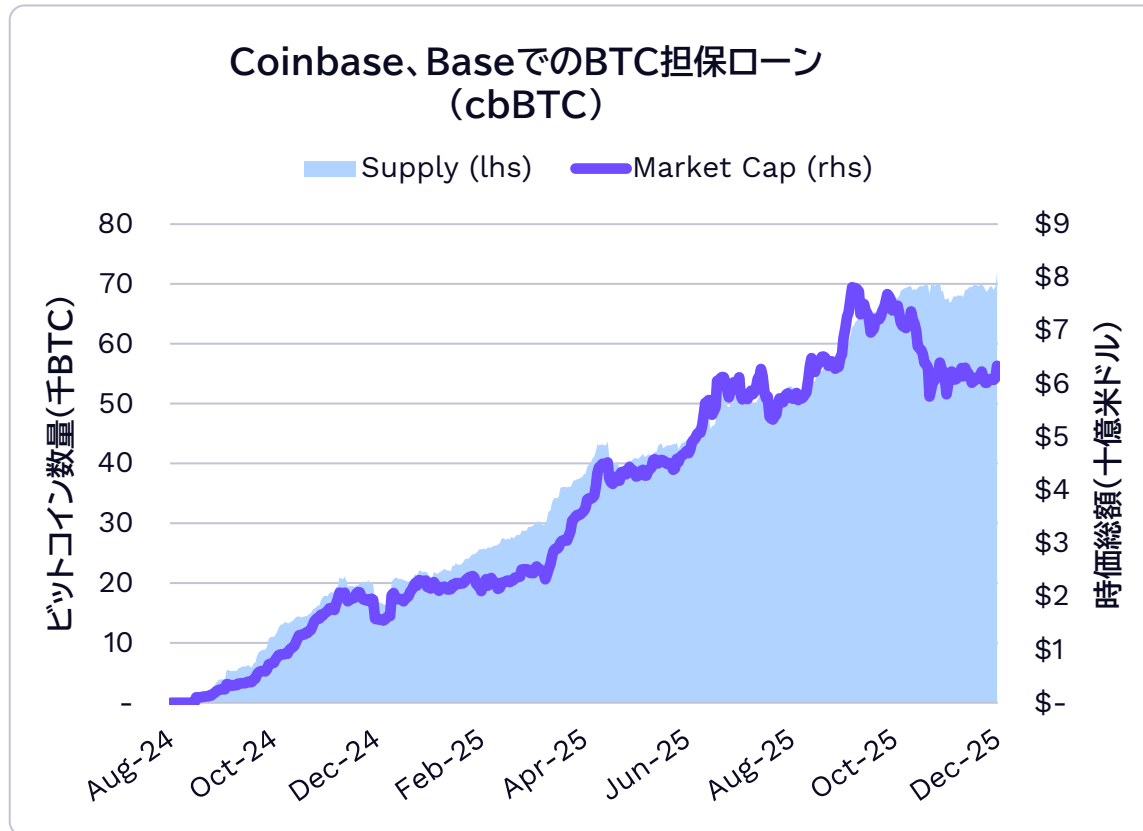
現時点では国債がトークン化の中心を占めていますが、今後5年間では、銀行預金および世界的上場株式が、現在の構成比を上回る形でより大きな価値をオンチェーンへ移行させる可能性があります。

当社の見解では、トークン化の幅広い普及は、規制の明確化および機関投資家向けインフラの整備を受けて進展する可能性が高いと考えています。



伝統的企業が独自インフラ構築によりオンチェーン展開を拡大

従来型企业は、自社専用のオンチェーン・インフラの構築を進めています。Circle(Arc)、Coinbase(Base、cbBTC)、Kraken(Ink)、OKX(X Layer)、Robinhood (Robinhood Chain)、Stripe(Tempo)などは、BTC担保ローン、トークン化株式やETF、ステーブルコイン決済基盤といった自社サービスを支えるため、企業ブランドのL1/L2ネットワークを展開しています。



注記: CONYおよびMSTYは、それぞれCoinbase(COIN)およびMicroStrategy(MSTR)に連動するYieldMaxのオプション戦略型インカムETFであり、株式を直接保有するものではありません。出所: ARK Investment Management LLC, 2026年。@ryanyyi(2025年)、@entropy advisors(2025年)、Dune Analytics(2025年)のデータ(2025年12月31日時点)に基づいています。本資料は情報提供のみを目的としており、特定の証券または暗号資産の購入、売却、もしくは保有を推奨するものではありません。過去の実績は将来の成果を示唆するものではありません。予測には本質的な制約があり、依拠できるものではありません。